

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月13日

事業所名: 児童デイサービス結らんど山里

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|---|----|-----------|--------------------|---|---------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | 3 | | 外での活動を多く取り入れるようにしている。 | 児童の状況に応じて、公園・近隣散歩等個別の対応を行う。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 2 | | 児童の人数に合わせ、担当職員を配置している。 | 適正人数をその都度確認する。(状況把握) |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 5 | 2 | | 段差等気になる場所は管理者へ報告している。 | 優先順位を決めながら、取り組んでいく。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | | | 7 | 職員間で共有を行っている。 | 研修参加。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | | アンケート結果を職員間で共有している。 | 定期的なアンケート実施。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | | 4 | 3 | ホームページ開設 | ホームページ更新作業の研修会実施。「結らんど通信」を定期発行。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 5 | | | 今後、検討。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 2 | 1 | リモートで参加できるよう環境整備を行った。 | 研修案内の対象職員は研修へ参加できるよう努める。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | 児童や保護者の意向を確認して作成している。 | 聞き取りをきめ細かに行う。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 4 | 3 | | | アセスメントツールの確認・見直し等 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | | 全職員で月間の計画を作成している。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | | | 児童からの提案も聞くようにしている。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 5 | 2 | | 普段できない活動を取り入れるようにしている。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | 児童個々の特性に配慮している。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | | 送迎前にミーティングを行うようにしている。 | 時差で出勤してくる職員への連携。連携ノートの活用。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 2 | | 連携ノートで情報の共有を図っている。個々の様子や出来事・活動について記録している。 | 連携ノートへの記入を確実にを行う。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | | 記録の共有を行っている。 | 定期的に確認を行う。 |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | | 基本的には6か月に1度見直している。 | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 3 | 4 | | | 確認作業を行う。 | |
| 関係機関や保護者 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 7 | | | 送迎等、学校職員とコミュニケーションを図っている。 | |

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月13日

事業所名: 児童デイサービス結らんど山里

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|--|----|-----|---|---------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | | 外での活動を多く取り入れるようにしている。 | 児童の状況に応じて、公園・近隣散歩等個別の対応を行う。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | | 児童の人数に合わせ、担当職員を配置している。 | 適正人数をその都度確認する。(状況把握) |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | 1 | 段差等気になる場所は管理者へ報告している。 | 優先順位を決めながら、取り組んでいく。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 7 | | 定期的な清掃の実施。安全に活動できるよう配慮している。 | 定期的に喚起を行う。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | 2 | 職員間で共有を行っている。 | 研修参加。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | アンケート結果を職員間で共有している。 | 定期的なアンケート実施。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | 3 | ホームページ開設 | ホームページ更新作業の研修会実施。「結らんど通信」を定期発行。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 5 | | 今後、検討。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | 2 | リモートで参加できるよう環境整備を行った。 | 研修案内の対象職員は研修へ参加できるよう努める。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 7 | | 児童や保護者の意向を確認して作成している。 | 聞き取りをきめ細かに行う。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 7 | | | アセスメントツールの確認・見直し等 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 7 | | 情報の共有 | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 7 | | 個別支援計画の共有を行っている。 | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | 全職員で月間の活動を作成している。 | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | | 活動が重複しないよう心掛けている。 | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 7 | | 児童個々の特性に配慮している。 | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | 送迎前にミーティングを行うようにしている。 | 時差で出勤してくる職員への連携。連携ノートの活用。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 1 | 連携ノートで情報の共有を図っている。個々の様子や出来事・活動について記録している。 | 連携ノートへの記入を確実にを行う。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | 記録の共有を行っている。 | 定期的の確認を行う。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | 基本的には6ヵ月に1度見直している。 | |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 6 | 1 | 必要時には連携を行っている。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 2 | 5 | 必要時には連携を行っている。 | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 2 | 5 | 必要時には連携を行っている。 | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | | 関係者会議等を通して行っている。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | | 関係者会議等を通して行っている。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|----|-----|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 5 | 2 | 専門機関担当者から助言を貰うようにしている。 | 定期的に専門機関担当者から助言を貰う場を設ける。 |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 7 | コロナの影響もあり、自粛中。 | コロナの状況を考慮し、取り組んでいく。 |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 2 | 5 | 日程を調整し、部会へ参加している。 | |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | | 送迎の際等、1日の出来事を伝え、共通理解するよう心掛けている。 保護者との情報交換を行っている。 | 情報の共有を行う。 (職員間) |
| | 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 7 | | | 必要時相談や助言を行っているが、今後はプログラムの支援を検討していきたい。 研修会へ参加。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | | |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7 | | | |
| | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | | その都度、対応している。 | |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 7 | 「情報交換の場」の計画を行った。(延期) | コロナの状況を考慮し、取り組んでいく。 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | 保護者等の申入れは、職員間で共有して対応している。 | |
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | | 行事予定は毎月配布している。 | 「結らんど通信」の定期発行。 |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意している | 7 | | 棚等は施錠している。 | |
| | 39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | 非言語コミュニケーションからも読み取る。 | 外国人保護者への伝達手段の構築。 |
| | 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 7 | | 今後、検討していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 1 | 6 | 契約時、説明を行っている。 | 面談時説明(確認)を行っていく。 年1回訓練の実施。 「結らんど通信」・ホームページ等で実施報告を行っていく。 |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | 3 | | 年2回は訓練の実施。 「結らんど通信」・ホームページ等で実施報告を行っていく。 |
| | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 7 | | 契約時、確認するようにしている。 | |
| | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | | 定期受診後、確認を行っている。 | 現在は保護者からの情報で対応しているが、今後医師の指示書については検討。 |
| | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | 3 | その都度、情報を共有するようになっている。 | ミーティング等を通して、ヒヤリハットについて報告・確認・対応を検討する。 |
| | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | | 事業所内へポスターを掲示。研修会へ参加。 | 今後も研修会へ参加していく。 |
| | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6 | 1 | | 対象児童なし。 身体拘束は行わない支援を心掛けている。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月 13日

事業所名 児童デイサービス結らんど山里

保護者等数(児童数) 11 回収数 9 割合 81.8 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------------|---|----|---------------|-----|-----------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 7 | 2 | | 児童が何人利用しているかわからいので... | 「結らんど通信」に利用人数記載。 事業所内へ児童紹介を掲示。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 8 | 1 | | スタッフが足りているか保護者は分からない | 「結らんど通信」で紹介。 事業所内へ職員紹介を掲示。 |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 9 | | | | その都度、必要なものから対応していく。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 7 | 2 | | | 継続して行っていく。 (聞き取り等をきめ細かに行う) |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 8 | 1 | | | 情報収集を行い、取り入れていく。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 5 | 2 | 2 | | コロナの状況を考慮しながら、取り組んでいく。 |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 8 | 1 | | | 継続して行っていく。 |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 9 | | | | 継続して行っていく。 |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | 1 | | | 必要時、面談等を行っていく。 |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 4 | 3 | 2 | | コロナにより延期中。 (取り組み方を検討中) (案)リモート開催等 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7 | 2 | | | 継続して行っていく。 |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 9 | | | | 統一した支援が出来るよう面談等で確認していく。 |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 7 | 2 | | | ホームページの周知や更新作業の研修会実施予定。 「結らんど通信」を定期発行。 |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 8 | 1 | | | 継続し行っていく。 | |
| 非常時 等の 対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 4 | 4 | 1 | | 面談時説明(確認)を行っていく。 コロナ対策の徹底。 |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 6 | 2 | 1 | | 年2回は訓練の実施。 「結らんど通信」・ホームページ等で実施報告を行っていく。 |
| 満足 度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 9 | | | | 継続して行っていく。 |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 9 | | | 職員にもよる | 継続して行っていく。 研修や事業所ミーティング等を通して、質の向上や統一したサービスの提供(見直し)に努める。 |

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和3年3月13日

事業所名 児童デイサービス結らんど山里

保護者等数(児童数) 6 回収数 5 割合 83.3 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|------------------|--|----|---------------|-----|-------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている | 3 | 2 | | | | 「結らんど通信」に利用人数掲載。事業所内へ児童紹介を掲示。活動を工夫し、状況に応じて実施。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切である | 3 | 2 | | | | 「結らんど通信」で紹介。事業所内へ職員紹介を掲示。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 5 | | | | | その都度、必要なものから対応していく。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 3 | 1 | | 1 | | 継続して行っていく。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている | 2 | 2 | | 1 | | 継続して行っていく。 (聞き取り等をきめ細かに行う) |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 3 | | | 2 | | 継続して行っていく。 |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 4 | | | 1 | | 継続して行っていく。 |
| | 8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている | 4 | 1 | | | | 情報収集を行い、取り入れていく。 |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 2 | 1 | 2 | | コロナの状況を考慮しながら、取り組んでいく。 |
| | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた | 5 | | | | | 継続して行っていく。 |
| 適切な 支援の 提供 | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた | 4 | 1 | | | | 継続して行っていく。 |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている | 1 | 2 | 1 | 1 | | 状況に応じて取り組んでいく。 職員の研修会への参加。 |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 4 | 1 | | | | 継続して行っていく。 |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている | 4 | 1 | | | | 継続して行っていく。 |
| | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている | | 2 | 1 | 2 | | コロナにより延期中。 (取り組み方を検討中) (案)リモート開催等 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|---------|----|--|----|--------------|-----|-----------|------------------------|---|
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている | 5 | | | | | 継続して行っていく。 |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている | 4 | 1 | | | | 継続して行っていく。 |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている | 4 | 1 | | | | ホームページの周知や更新作業の研修会実施予定。 「結らんど通信」を定期発行。 |
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されている | 4 | | | 1 | | 継続して行っていく。 |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている | 2 | | | 3 | | 面談時説明(確認)を行っていく。 年1回訓練の実施。 「結らんど通信」・ホームページ等で実施報告を行っていく。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている | 2 | | | 3 | | 年2回は訓練の実施。 「結らんど通信」・ホームページ等で実施報告を行っていく。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしている | 4 | 1 | | | 毎週2~3回結らんどはいつ?と聞いてきます。 | 継続して行っていく。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足している | 5 | | | | とても楽しみに迎えて待っています。 | 継続して行っていく。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。